

まとめたものです。

当初は、一診療科で始まったこの取り組みも現在は病院全体で行われています。



学会賞授賞式

術前に抗血栓薬の使用を一時中断する際の病院薬剤師による介入・調整が、多くの病院で取り入れられ、薬剤のインシデント・アクシデントを未然に防止できれば幸いです。

また、本論文の著者である私の職種は、事務職であります。医師と病院薬剤師が行った業務を事務職が取りまとめた働き方改革におけるタスクシフトの一環と考えており、今後医師や薬剤師の業務負担軽減の一事例となればと思っております。

学会賞を受賞して

札幌市立大学看護学部 鬼塚美玲

この度は学会賞という荣誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。本学会の宮崎久義理事長ならびに関係者の皆様に心から御礼申し上げます。今回受賞した論文「母親役割を持つ看護師のワーク・ファミリー・コンフリクト(以下WFC)における因果関係モデルの検証」は、臨床看護師時代の自身の経験が研究動機となった大変思い入れのある研究です。WFCの増大は職務満足の下やバーンアウト等につながるため、WFCの低減に向けた職場環境づくりが重要となります。本研究の結果から、「看護の専門性を発揮できる職場環境」がWFCの低減に有用であることが明らかになりました。仕事と子育ての両立においては両立支援体制の整備のみならず、看護専門職として役割を發揮できる職場環境の整備が不可欠と言えます。今後も母親役割を持つ看護師のWFCに関する研究を継続し、看護職が生き生きと就業を継続できる職場環境づくりに貢献できるよう努力して参りたいと思います。

学会賞を受賞して

茨城県民生協同組合友愛記念病院呼吸器外科 三好孝典

この度は令和2年度学会賞を頂き、学会並びに関係部署の皆さまに御礼申し上げます。今回受賞対象となりました論文は、「呼吸器外科新設の医療経済からのメ

リットと投資意思決定の検討」でした。著者が現病院に転勤し、診療科の立ち上げという滅多にない機会を得ましたので、病院経営にどの程度メリットがあるか実際に行われた医療行為に対する収益、費用を元に損益分岐点を算出しました。

さらに呼吸器外科診療を投資対象と仮定したパイオフ表を作成し、一定の症例数以上の手術が見込まれる場合には呼吸器外科新設が病院経営の面から有益であるという報告をしました。今回行った検討手法は、新規に医療機器を導入する場合にも応用可能であり、医療経営を考慮した資本投下のボリュームを試算する時に貢献できると考えます。

最後に今回の医療経済的手法をご教授くださいました、国際医療福祉大学大学院武藤正樹教授(当時)、羽田明浩教授に深謝いたします。

学会賞を受賞して

群馬パース大学看護学部看護学科 堀込由紀

この度は、身に余る表彰をいただきまして心より感謝申し上げます。本研究「医療安全管理者が抱える業務遂行上の困難—フォーカス・グループ・インタビューの分析から—」は、医療安全管理者のよりよい育成を考えるために、医療安全管理者の皆様の日々の活動の中で課題に感じていることについてインタビューをさせていただきました。その結果を分析する過程では、現状の課題をできるだけリアルに表現できるよう、研究者間で時間を掛けて何度もディスカッションを重ねました。業務過多の現状、病床規模による抱えている課題の相違、医療安全管理者と協働する職種の多様化の他、予防の観点からインシデントを発生させないための新しいチャレンジしていることなども明らかにすることができました。本研究結果が、現状の課題に対応できる医療安全者の育成とより一層の医療安全活動の推進に貢献できれば幸いです。最後に、ご協力いただきました医療安全管理者の皆様、宮崎久義先生、坂本すが先生をはじめとする共同執筆者の先生方、査読者の先生方、日本医療マネジメント学会の事務局の方々に心より感謝申し上げます。

学会賞を受賞して

久留米大学バイオ統計センター兼

久留米大学病院臨床研究センター

先端的バイオメディカル情報解析部門 小原 仁

この度は名誉ある「日本医療マネジメント学会 学会賞」を賜り、たいへん光栄に存じます。選考委員の先生